

# 今後の中学校給食に関する方針(素案)【骨子】

令和4年●月

枚方市教育委員会

— 目 次 —

はじめに .....	1
1. 今後の中学校にふさわしい給食についての基本的な考え方 .....	□
1-1. これまでの検討経過 .....	□
(1) 枚方市中学校給食あり方懇話会	
(2) 児童・生徒・保護者へのアンケート調査	
(3) 懇話会で検討した以外の社会情勢の変化	
1-2. 今後の中学校にふさわしい給食についての基本的な考え方 ..	□
2. 給食の提供方式等 .....	□
(1) 提供方式	
(2) 食材・献立	
(3) 食物アレルギー対応	
(4) 調理	
(5) 配膳	
(6) 給食費	
3. 実施に向けた取り組み .....	□
(1) 安全安心	
(2) 栄養・健康	
(3) 食育の推進	
(4) 学校における対応	
(5) 経済的に困難を抱える家庭に対する支援	
4. 調理場の整備等 .....	□
(1) センター方式での整備	
(2) センター方式の採用について	
(3) 給食センターの整備手法	
(4) 検討課題	
5. 今後の予定 .....	□

## ■はじめに

学校給食法では、「学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであることにかんがみ、学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導の実施に関し必要な事項を定め、もつて学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ること」「義務教育諸学校の設置者は、当該義務教育諸学校において学校給食が実施されるように努めなければならない」と規定されています。また、食育基本法では、「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも『食』が重要である」としています。

枚方市では、中学校の昼食は家庭で用意してもらった弁当を持参することを基本としてきました。その後、平成25年に「中学校給食の実施手法等に関する方針」で中学校給食の必要性を示し、平成28年度からはランチボックス方式による選択制給食を実施してきたところです。

枚方市の選択制の中学校給食のスタートから5年以上が経過し、「ランチボックス方式では個々の食事の量の調整が難しい」「調理委託等の受託者が限られてきている」などといった課題がでてきました。また、大阪府内でも、選択制給食から全員給食に提供方法を見直す自治体が相次ぐなど、中学校給食を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。

そうした中、教育委員会として、今後の中学校給食のあり方、生徒にとって望ましい給食のあり方をあらためて検討するにあたり、令和3年10月に有識者・PTA・学校関係者で構成された「枚方市中学校給食あり方懇話会」を設置し、幅広く意見を聴取しました。また、令和4年7月には、市立小中学校の児童・生徒及びその保護者を対象に、「中学校給食に関するアンケート調査」を実施しました。

また、令和2年1月からの新型コロナウイルス感染症による影響や、令和4年2月からのロシアによるウクライナ侵略の影響等による原油価格高騰等に起因する食材料費の価格上昇等に対応する持続可能な給食のあり方についてもあわせて検討してきました。

これらの検討結果等を踏まえ、安全安心な学校給食の提供を継承しつつ、中学校の全員給食に向けた「今後の中学校給食に関する方針」を策定するものです。

# 1. 今後の中学校にふさわしい給食についての基本的な考え方

## 1-1. これまでの検討経過

### (1) 枚方市中学校給食あり方懇話会

<各会議における主な意見>

#### 【第1回会議】

##### ●枚方市の学校給食の現況

(主な意見)

- ・栄養が考えられている中学校給食の献立が広く保護者に伝わるようにするべきだ
- ・昼食を食べていない生徒がいると聞いているので全員給食が求められる

##### ●枚方市のこれまでの学校給食に関するアンケートから

(主な意見)

- ・成長期にある中学生にとって1日3食のうちの1食である昼ごはんをどうしていくかは重要
- ・買った昼食だと食事内容にも親の目が行き届かなくなるので全員給食が求められる

#### 【第2回会議】

##### ●中学生の時期に必要な食事

(主な意見)

- ・学校給食が果たす役割として栄養面はもちろん日常の食生活・食習慣においても重要
- ・成長期に適切な栄養素摂取ができていない栄養についてアプローチできているのが学校給食

##### ●枚方市の食育などの取り組み

(主な意見)

- ・中学生期は食生活の自立に向けた大切な時期なので給食の果たす役割は大きい
- ・選択制の給食では食育の推進が限定的となっている
- ・全員給食であれば給食を活用した食育、学校教育としての食育を進めていくことが可能

##### ●提供方式

(主な意見)

- ・食べ残しや個々の食べる量の問題、器の形状など食育の理由から食缶方式が望ましい
- ・義務教育の間は最低必要な栄養所要量が摂取できるようにしていくために全員給食が望まれる
- ・感染防止や個別に用意されているランチボックスが取り扱いやすいと思う

##### ●中学校給食の望ましい方向性

(主な意見)

- ・子どもたちの食育や栄養面を考えたときに生徒皆が一緒の全員給食が望ましい
- ・義務教育の子どもたちを責任をもって育てていくことを考えると全員給食を望む
- ・全員給食は望ましいが学校現場における課題等は多くある
- ・栄養面で給食に勝るものはなく平等性の観点からも全員給食がよい
- ・全員給食で小学校同様の食缶方式がよい
- ・中学生の心身の育成、栄養面の確保、学校が担うべき食育の観点から全員給食が望ましい
- ・持続可能な食育推進、成長期の中学生を誰一人残さず健全に育成していくため全員給食が必要

#### 【第3回会議】

##### ●調理施設・配膳室等

(主な意見)

- ・食育などの見地から子どもたちに最も近い自校方式がよい
- ・自校方式がよいが経費などの面で難しいのであればセンター方式の調理場が望ましい
- ・調理場は民間ではなく市が整備した第一共同調理場との組み合わせがよい
- ・民間調理場は市外の離れたところにあると栄養教諭などがなかなか見に行くことができない
- ・配膳室は生徒が急増した場合の整備や学校規模により位置や大きさの検討が必要

##### ●給食時間

(主な意見)

- ・全員給食・食缶方式で実施している自治体が多いことを考えると枚方市でもできると思う
- ・子どもたちは小学校で経験しているので中学校になってもそのまま継続できると思う
- ・学校現場に「給食にかかる職員の増員」「日課の変更」「食物アレルギー対応」など課題は多い
- ・学校現場における課題の具体的な抽出が必要

●給食献立

(主な意見)

- ・ランチボックス方式は再加熱し保温時間も長いため色合いや味ができ上がりと異なる
- ・給食献立表や給食だよりをみて家庭でも食文化を知ることができる
- ・テーマに沿った献立の取り組みは全員に学ぶチャンスとして生かしていないのがもったいない
- ・生徒に自分の置かれている環境や格差に悩ませないためにも同じ献立の全員給食が必要

【第4回会議】

●今後の課題の抽出

(主な意見)

- ・小中学校の連携で全員給食を前提としたカリキュラム編成、食育の指導全体計画の作成が必要
- ・フードロス削減に向け現在のランチボックス方式を改めて量の調整ができるようにする
- ・新たな給食センターの設置にあたっての実現可能性や費用対効果、効率性等
- ・中学校のPTA 給食委員も小学校同様に19校すべてに委員がいた方がよいと思った
- ・学校現場は現実問題として施設面などの課題が山積している状況

●市民等からの意見募集等

(主な意見)

- ・中学校給食の意義、目的、期待される効果を伝えたくてアンケート調査を実施するのがよい
- ・給食内容・提供方式は小学校の実施方法を継続するという前提でアンケートをするのがよい
- ・児童生徒は嗜好の部分が大きく給食の必要性や給食費など客観的な判断ができないと思う
- ・過去のアンケート結果をみてもらって給食に関心を持ってもらったうえで意見募集すればよい

【第5回会議】

●市民等からの意見募集等

(主な意見)

- ・小学校保護者に「中学校全員給食実施の賛否」「実施の場合の気になる点」を聞いてはどうか
- ・子どものアンケートでは小学校6年生に「中学校給食に期待すること」を聞いてはどうか
- ・市民への意見募集は実施するべきで、結果を保護者・生徒にみてもらいたい

●実施手法の比較

(主な意見)

- ・献立も施設に見合ったものとしていくには栄養士や調理員とも相談が必要なので時間が必要
- ・膨大な費用がかかる中でも90%近くの自治体全員給食を実施している
- ・全員給食実施までに何年か必要になるのでその期間を準備期間と考えてもよいのではないか
- ・実際に行うのは学校現場なので課題の抽出を調査して解決していくことが大切

●中学校生活への影響

(主な意見)

- ・様々な課題について学校現場の状況を第一に考えていく必要がある
- ・全員給食の学校現場における課題について現場の教員の意見を聞くことが必要
- ・アレルギー対応については全員給食となれば組織として対応していかなければならない
- ・給食費は「未納だから食べてはいけない」ということは教育上好ましくない
- ・中学校給食も全員給食となったら小学校のような徴収方法ができるのか検討が必要
- ・全員給食となれば週1回でも食育の教材としての給食をモデルとして示してもらえたらと思う
- ・給食の時間ではなく食育の時間としてカリキュラム変更できれば実施しやすいのではないか

●大阪府内の中学校給食の実施状況(別添資料参照)

(主な意見)

- ・全員給食は食缶方式が多く採用されていることが分かる
- ・食缶方式は経費面と食育の観点から優位性があり効率もよいと考える

- ・SDGsの観点から継続的に実施していく必要があるので食缶方式の市を参考にすべきである
- ・全員給食となれば他市でどのような工夫がなされているのか調査して課題解決に生かせればよい

平成25年3月に枚方市教育委員会が現行のランチボックス方式・選択制給食導入の考え方を示した「中学校給食の実施手法等に関する方針」策定時から比べると、大阪府内でも選択制給食から全員給食に提供方法を見直す自治体が相次ぐ一方、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響を受けた諸材料価格の高騰など、社会情勢が大きく変化している状況です。そうした中、今後の中学校給食のあり方、生徒にとって望ましい給食のあり方について、各委員にはそれぞれの分野から様々な意見をいただきました。その中でも、とくに成長期である中学生に必要となる「栄養・健康」「教育・食育」に関する意見が多く示されました。また、実施にあたっては、「食缶方式」による「全員給食」で調理場は「センター方式」が望ましいという意見が多く出されました。

## (2) 児童・生徒・保護者へのアンケート調査

平成28年4月から選択制の中学校給食を実施して6年が経過する中、今後の中学校給食のあり方、生徒にとって望ましい給食のあり方の検討を進めるにあたり、児童・生徒・保護者を対象に「中学校給食に関するアンケート」調査を実施しました(別添資料参照)。

- ・調査期間…令和4年7月8日(金)～同7月21日(木)
- ・対象者…市立中学校全生徒(10119人)及び市立小学校3年生から6年生(13406人)の児童とそれぞれの保護者
- ・調査方法…保護者へ配付した「アンケートのお知らせ」に記載したQRコードまたはURLから回答
- ・回答数…中学校 保護者1673人(回収率16.5%)・生徒 955人(回収率 9.4%)  
小学校 保護者3732人(回収率27.8%)・児童3632人(回収率27.1%)

### 【調査結果】(抜粋)

#### ●給食の良い点について

今回／保護者	中学保護者	小学保護者
仕事で弁当の用意が難しいので助かる	62.0%	61.9%
家庭での献立づくりの負担が軽減される	62.6%	65.3%
栄養のバランスがとれる	75.1%	85.4%
好き嫌いを直すきっかけになる	19.6%	31.3%
子どもの荷物が減る	48.3%	56.9%
家庭で食べることがないメニューがある	52.8%	64.5%
食への関心や知識を得られる	16.9%	21.1%
安くて経済的	27.6%	28.9%
良い点はない	0.2%	1.4%
その他	3.5%	3.4%

(参考)平成24年2月市民アンケート	
おいしかった	18.9%
家庭での弁当づくりの負担が軽減された	20.2%
健康・体力づくりにつながった	13.9%
好き嫌いを直すきっかけになった	12.5%
みんなで同じものを食べる楽しみ	24.0%
食への関心や知識を得られた	6.5%
良い点はなかった	1.6%
その他	2.4%

※今回の調査は複数回答としているため合計が100%になりません。

今回／生徒・児童	中学生徒	小学児童
おいしいと思う	41.7%	66.7%
家庭での献立づくりの負担が軽減される	73.6%	36.2%
栄養のバランスがとれる	56.7%	64.8%
食への関心や知識を得られる	12.1%	21.9%
好き嫌いを直すきっかけになる	11.2%	24.9%
家庭で食べることがないメニューがある	36.6%	57.4%
荷物が減る	61.6%	35.0%
安くて経済的	28.7%	—
みんなが同じものを食べることができる	—	34.3%
良い点はない	3.6%	1.4%
その他	6.3%	3.4%

※今回の調査は複数回答としているため合計が100%になりません。

### ●給食の良くない点について

今回／保護者	中学保護者	小学保護者
子どもが給食を嫌がる	77.4%	25.8%
家でつくった弁当の方がよい	27.3%	5.9%
パンなどを購入する方がよい	1.9%	0.5%
献立に変化がない	1.6%	4.0%
子どもが嫌いな食べ物が多い	13.4%	11.3%
量が多い	13.9%	6.0%
量が少ない	2.3%	13.0%
給食費が高い	10.3%	14.3%
良くない点はない	4.8%	38.0%
その他	5.5%	12.0%

※今回の調査は複数回答としているため合計が100%になりません。

今回／生徒・児童	中学生徒	小学児童
おいしくないと思う	40.9%	6.7%
家でつくった弁当の方がよい	69.8%	16.9%
パンなどを購入する方がよい	8.8%	
気に入ったメニューがない	23.8%	7.5%
嫌いな食べ物が出てくる	36.3%	36.8%
量が多い・量が少ない	40.5%	—
昼の時間がなくなる	18.3%	7.6%
給食費が高い	7.3%	—
食べ残しができないように思う	—	11.7%
小学校でもうあきた	—	6.7%
給食当番がいや	—	26.1%
良くない点はない	13.1%	41.4%
その他	8.2%	2.3%

※今回の調査は複数回答としているため合計が100%になりません。

(参考)平成23年2月生徒・児童アンケート		
	生徒	児童
給食の方が好き	10.1%	7.0%
親の手間が省ける	23.5%	25.4%
栄養のバランスがとれる	17.7%	20.9%
好き嫌いを直せる	3.8%	2.8%
みんなが同じものを食べられる	4.6%	7.8%
家で食べられないものが食べられる	8.1%	8.3%
安くて経済的	8.4%	8.9%
弁当を作ってもらえない	0.6%	0.6%
弁当だと荷物になる	20.3%	15.2%
学校で弁当を食べたくない	1.2%	1.2%
その他	1.7%	1.9%

(参考)平成24年2月市民アンケート	
おいしくなかった	17.3%
嫌いなものを食べなければならない	32.0%
給食当番をしなければならない	10.2%
量が多かった	5.6%
量が少なかった	6.7%
家でつくった弁当の方がよい	6.7%
良くない点はなかった	18.0%
その他	3.5%

(参考)平成23年2月生徒・児童アンケート		
	生徒	児童
給食はまずい	9.4%	4.3%
嫌いな食べ物が出てくる	13.2%	15.0%
献立に変化がない	4.6%	5.7%
給食当番がいや	20.3%	18.5%
量が不足	6.0%	5.5%
昼の時間がなくなる	10.8%	8.6%
残さず食べなければならない	7.3%	7.8%
弁当の方がよい	16.9%	23.3%
給食はもうあきた	9.4%	9.1%
その他	2.1%	2.2%

## ●中学校における昼食について

今回／保護者	中学保護者	小学保護者
全員を対象とした給食が望ましい	58.3%	71.8%
給食または弁当・パン等の持参を選択できるのが望ましい	39.1%	26.1%
その他	2.6%	2.1%

今回／生徒・児童	中学生徒	小学児童
全員を対象とした給食が望ましい	13.3%	45.8%
給食または弁当・パン等の持参を選択できるのが望ましい	82.8%	54.2%
その他	3.9%	0%

(参考)平成24年2月市民アンケート	
全員を対象とした給食が望ましい	59.4%
給食または弁当・パン等の持参を選択できるのが望ましい	23.2%
弁当やパン等を持参するのが望ましい	13.1%
その他	4.3%

(参考)平成23年2月生徒・児童アンケート		
	生徒	児童
家で作る弁当がよい	51.4%	58.2%
学校給食がよい	17.6%	18.5%
お店で買った弁当・パン等がよい	21.1%	15.5%
弁当屋さんが届けてくれるのがよい	8.3%	6.3%
その他	1.6%	1.5%

保護者では、全員給食を望む回答が中学校で約58%、小学校で約72%、選択制を望む回答が中学校で約39%、小学校で約26%となっています。このほか多くの保護者から「栄養のバランスがとれる」「弁当・献立づくりの負担が軽減される」といった回答がされています。

中学校生徒では選択制を望む回答が約83%、全員給食を望む回答は約13%、小学校児童では選択制を望む回答が約54%、全員給食を望む回答が約46%となっています。

### (3) 懇話会で検討した以外の社会情勢の変化(新型コロナウイルス感染症等による原油価格高騰等への対応)

新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響等による原油価格高騰等に対応し、保護者負担となる給食費を引き上げることなく持続可能な給食提供を実施するため、国の臨時交付金を活用して、給食の食材の価格上昇分の負担軽減に向けた補助事業を創設しました。この事業を継続させていくため、国等に補助制度の要望活動を行っています。

現在の選択制給食のもとでは、給食を選択していない家庭における家計負担は増加することが想定される中、持参する弁当の量を減らすことなども想定されます。成長著しい時期の中学生の発達を鑑みると、こうした影響に左右されないように中学校全員給食にすることが望ましいと考えます。

また、災害時には、学校給食調理場が機能しておれば、家庭や避難先で十分な食事が摂れない状況となっても、学校給食が栄養確保のバックアップの役割を果たすことが可能です。このような取り組みを進めていくうえで、給食費について公会計化を行うことで、より弾力的かつ機動的に対応可能になるものと考えます。

## 1-2. 今後の中学校にふさわしい給食についての基本的な考え方

1-1. 検討経過を踏まえると、枚方市中学校給食あり方懇話会では、とくに「栄養・健康」「教育・食育」の重要性がクローズアップされました。アンケート調査では、多くの保護者から「全員給食が望ましい」「栄養のバランスがとれる」「弁当・献立づくりの負担が軽減される」といった回答がありました。こうしたことから、生徒の健康・成長を支え、将来にわたって「食」への関心や理解を深めるための取り組みを進めていくことが求められています。学校給食実施基準の一部改正については、学校給食に期待できることが挙げられており、これからの中学校給食のあり方、中学生にとってふさわしい給食のあり方の方向性を示すものと考えています。

○望ましい栄養量の摂取ができる



- 多様な食にふれることができる
- 食に関する重要な教材となる
- 望ましい食習慣の形成につながる
- 食に関する実践力が身につく
- 児童生徒の食生活の改善につながる

これら学校給食に期待できるすべての事項が、成長期であり食生活の基本が形成される年齢期の中学生にとってふさわしい給食のあり方だと考えられます。

本市では、選択制給食を実施しつつ、その選択する生徒を増加させることにより、学校給食法の目的の実現をめざして取り組みを進めてきました。しかし、現在の選択制の給食では、「ほかに給食を食べている生徒がない」「みんなで給食の準備をしないので面倒」などといった理由で給食を選択しない生徒が多く存在し、学校給食法の目的を実現するには限界がある状況です。

こうしたことから、すべての生徒が「中学生にとってふさわしい給食」を食べることができる環境を整備し、すべての生徒の健全な成長を支えていくために、安全安心な給食の提供を継承しつつ、コロナ禍などの影響があったとしても、持続的に給食を提供可能な体制を整えた上で、中学校給食の全員給食に向けた取り組みを着実に進めていく必要があると考えます。

## 2. 給食の提供方式等

### (1) 提供方式

食缶方式の採用

### (2) 食材・献立

安全安心な食材の確保と栄養バランスのとれた完全給食の献立

### (3) 食物アレルギー対応

学校給食における食物アレルギー対応指針に則った学校・教育委員会・調理場が連携した体制づくり

### (4) 調理

センター方式の採用及び調理施設の整備

### (5) 配膳

配膳室の整備及び配膳員の配置

### (6) 給食費

現行の1食330円の想定と食材料費高騰への対応

公会計化について

## 3. 実施に向けた取り組み

#### (1) 安全安心

学校給食衛生管理基準、大量調理施設衛生管理マニュアル、HACCP(ハサップ)、枚方市学校給食衛生管理マニュアル、調理業務等作業基準に基づいた衛生管理、ドライシステムの導入、衛生管理の区画の明確化、安心安全な食材料の確保、衛生管理体制の構築、給食センターと学校との連絡体制の確立、学校給食における食物アレルギー対応指針に則った学校・教育委員会・調理場が連携した体制づくりなど

#### (2) 栄養・健康

成長期に見合う栄養バランスのとれた、健康面にも配慮した完全給食の献立づくり、調理における時間管理や適温提供、食材を活かした彩りや食感がおいしく感じられる工夫など

#### (3) 食育の推進

保健体育における望ましい生活習慣の育成と技術・家庭における食生活に関する指導、特別活動における給食の時間を中心とした指導などを相互に関連させながら、学校教育活動全体として効果的に取り組んでいただけるよう、栄養教諭をはじめとする枚方市学校給食会のネットワークも活用していきます。また、すべての生徒が給食を食べている(全員が同じメニュー)といったメリットを生かした食育にも取り組んでいきます。

#### (4) 学校における対応

給食にかかる職員の配置、日課の変更(給食の時間の設定)、食物アレルギー対応、配膳室の容量、給食費の徴収、食育の対応、保護者等への周知・説明など、各課題の解消に向け、全員給食実施までのスケジュールにおいて、先行的に実施するモデル校を活用して、検証を行いながら、教育委員会と学校間で十分な連絡調整を行います。

#### (5) 経済的に困難を抱える家庭に対する支援

すべての生徒が給食を喫食できるよう、就学援助・生活保護等の受給が決定した家庭には、引き続き、各種制度から給食費が支給されるものとします。

### 4. 調理場の整備等

#### (1) センター方式での整備

調理場の整備にあたってはセンター方式を採用

#### (2) センター方式の採用について(別添資料参照)

- ・集中的な衛生管理及び高度な衛生管理体制が期待できる
- ・自校方式の調理場より整備期間・コストを圧縮できる
- ・厨房機器などの設備を充実させることができる
- ・一括納品が可能で食材ロスの削減につながる
- ・市内または近隣立地のため調理後の配送に時間がかからずリスクが低い
- ・突発的な対応や変更が可能
- ・防災機能の導入が可能

- ・市が食材選定・献立立案を主導的にできる

### (3) 給食センターの整備手法

第一学校給食共同調理場の一部改修及び新たな給食センターを整備

国が平成27年に策定した「多様な PPP/PFI 手法導入を最優先的に検討するための指針」において、人口20万人以上の地方公共団体では10億円以上の公共施設の整備または年間維持管理費が概ね1億円以上の事業においては PPP/PFI 手法導入を優先的に検討することとされています。

そうしたことから新たな給食センターの整備手法としては、公民連携による PPP/PFI 手法導入を優先的に検討することとします。PFI 手法を導入した場合には、施設整備費の平準化が図られ、センター開設後の給食提供が15～20年継続できることが担保されるものと想定していますが、今後、庁内委員会等で検討を重ねたうえで実施計画等を策定し、令和5年度には可能性調査を実施したいと考えています。また、PPP/PFI 手法導入の検討と並行して、整備用地等の検討も進めていきます。

### (4) 検討課題

- ・PPP/PFI 手法導入を最優先的に検討する(並行して整備用地等を検討)
- ・新たなセンター整備にあわせた第一学校給食共同調理場の一部改修及び配膳室改修等の検討
- ・第一学校給食共同調理場の一部改修の工事期間の選択制給食の代替措置の検討
- ・必要となる学校との調整(保護者説明等含む)

## 5. 今後の予定

本方針策定時点での年次スケジュールです。

令和4年度(2022年度)	今後の中学校給食に関する方針(素案)作成 PPP/PFI 手法・整備用地等の検討 パブリックコメントの実施(今後の中学校給食に関する方針(素案)) 今後の中学校給食に関する方針(案)作成 今後の中学校給食に関する方針策定 実施計画等の策定	
令和5年度(2023年度)	<b>【PFI 事業】</b> 可能性調査の実施 事業者選定	<b>【中学校・第一学校給食共同調理場】</b> 配膳室調査・各学校調整 モデル校実施の検討
令和6年度(2024年度)	設計 建設	配膳室設計・改修 第一学校給食共同調理場設計・改修
令和7年度(2025年度)	開設準備	開設準備
令和8年度(2026年度)	全員給食の実施	





# 大阪府内の中学校給食実施状況

**43市町村のうち全員給食は33市町村(76.7%)・選択制給食は10市(23.3%)  
 選択制給食10市のうち3市が全員給食への移行を決定**

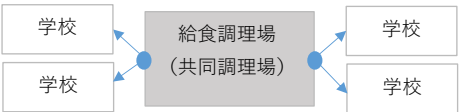
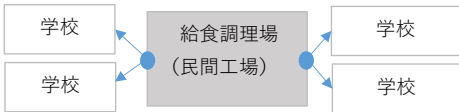
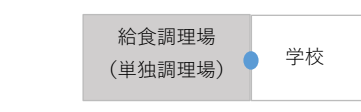

「中学校給食導入促進事業の進捗状況について」大阪府教育庁(令和2年10月末現在)に、聞き取り調査(R3年度)を加えたもの

		センター方式	民間調理場 活用方式	自校調理 方式	親子調理 方式	
全員給食	食缶	池田市	松原市	大阪市		
		四條畷市	泉大津市	高槻市※2		
		交野市	東大阪市	島本町		
		柏原市	豊中市(小おかずはランチボックス)	箕面市		
		藤井寺市		門真市		
		大阪狭山市		和泉市		
		太子町		高石市		
		河南町		能勢町		
		千早赤阪村		忠岡町		
		岸和田市		熊取町		
		泉佐野市		田尻町※2		
				岬町		
	ランチボックス			大東市(温)+食缶		
				泉南市(温)+食缶		
				豊能町		
				寝屋川市 ⇒センター+親子方式・食缶(未定)		
				貝塚市		
				阪南市		
	選択制給食	ランチボックス	枚方市(温)	堺市(温)* ⇒全員・センター方式・食缶(R7~)		
河内長野市 ⇒全員給食検討中			吹田市 ⇒全員給食検討中			
			茨木市* ⇒全員・センター方式・食缶(R7~)			
			摂津市* ⇒全員・食缶方式のみ決定(未定)			
			八尾市(温)			
			羽曳野市			
食缶※1			守口市	富田林市		

※1 カフェテリア方式(配膳員が盛付けて生徒に提供)

※2 給食費無償化実施

## 学校給食調理場の種別比較

	センター方式	民間調理場活用方式	自校方式	親子方式
内容				
	給食調理場(共同調理場)で調理した給食を複数の学校へ配送する方式	民間事業者に市が調理(民間工場)・配送・配膳などの業務を委託する方式	学校敷地内の調理場(単独調理場)で調理した給食を当該校に提供する方式	学校(親)敷地内の調理場で調理した給食を当該学校に提供するとともに近隣学校(子)に配送する方式
利点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校方式の調理場より厨房機器などの施設が充実</li> <li>・集中的な衛生管理ができる</li> <li>・一括納品が可能で食材ロスの削減につながる</li> <li>・調理場は市内または近隣立地</li> <li>・突発的な対応や変更が可能</li> <li>・防災機能の導入が可能</li> <li>・市が食材選定・献立立案を主導的にできる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備等の初期費用が不要</li> <li>・他の自治体での事例が豊富</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の独自色が出しやすい</li> <li>・配送が不要なため給食の適温管理ができる</li> <li>・学校と一体的な活動が可能</li> <li>・調理員と生徒の交流や感謝の気持ちを育むことができる</li> <li>・万一食中毒が発生した場合の被害拡大は(4方式中)最小限に抑えることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の独自色が比較的出しやすい</li> <li>・配送に時間を要しないため給食の適温管理ができる</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校における個々の対応の調整が必要</li> <li>・万一の事故発生時のバックアップ体制の必要あり</li> <li>・新たに整備する場合は用地確保、時間・費用が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材や調理員の管理等に市が関与しにくい(市が食材選定・献立立案を主導的にしにくい)</li> <li>・突発的な対応や変更が困難</li> <li>・調理業務に係る費用負担(調理委託など)は大</li> <li>・調理場の立地が近隣ではないため調理後の配送に時間がかかるなどのリスクが高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに整備する場合は学校敷地であるため建設に相当な時間・費用が必要</li> <li>・施設維持管理の費用負担</li> <li>・学校敷地内での用地確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各調理場において人員の確保が必要</li> <li>・親の学校と子の学校の献立などを統一させる必要</li> <li>・施設維持管理の費用負担</li> <li>・学校敷地内での用地確保</li> <li>・建築基準法の用途規制</li> </ul>
特記事項	初期費用を抑える建設の手法などに検討が必要(資金調達及び整備手法:PFI・DB等の手法、交付金など)	民間工場では現行のランチボックス方式での提供は困難	市内学校において新たな用地確保は困難であり現実的ではない	市内学校において新たな用地確保は困難であり現実的ではない

第5表

## 都道府県別 校給食実施状況（公立中 校数）

平成30年5月1日現在

都道府県名	総数	完全給食		補食給食		ミルク給食		計	
		学校数	百分比	学校数	百分比	学校数	百分比	学校数	百分比
1 北海道	576	561	97.4	4	0.7	6	1.0	571	99.1
2 青森県	156	146	93.6	1	0.6	9	5.8	156	100.0
3 岩手県	159	135	84.9	7	4.4	17	10.7	159	100.0
4 宮城県	200	194	97.0	4	2.0	1	0.5	199	99.5
5 秋田県	113	112	99.1	-	-	-	-	112	99.1
6 山形県	98	93	94.9	4	4.1	-	-	97	99.0
7 福島県	219	219	100.0	-	-	-	-	219	100.0
8 茨城県	211	208	98.6	3	1.4	-	-	211	100.0
9 栃木県	156	151	96.8	-	-	-	-	151	96.8
10 群馬県	161	159	98.8	-	-	-	-	159	98.8
11 埼玉県	414	412	99.5	-	-	1	0.2	413	99.8
12 千葉県	377	377	100.0	-	-	-	-	377	100.0
13 東京都	611	607	99.3	-	-	2	0.3	609	99.7
14 神奈川県	411	183	44.5	-	-	79	19.2	262	63.7
15 新潟県	227	225	99.1	-	-	1	0.4	226	99.6
16 富山県	80	79	98.8	-	-	-	-	79	98.8
17 石川県	84	82	97.6	-	-	1	1.2	83	98.8
18 福井県	75	72	96.0	3	4.0	-	-	75	100.0
19 山梨県	81	79	97.5	-	-	-	-	79	97.5
20 長野県	187	182	97.3	-	-	2	1.1	184	98.4
21 岐阜県	178	177	99.4	-	-	-	-	177	99.4
22 静岡県	263	258	98.1	1	0.4	3	1.1	262	99.6
23 愛知県	419	416	99.3	-	-	-	-	416	99.3
24 三重県	153	143	93.5	-	-	3	2.0	146	95.4
25 滋賀県	98	64	65.3	1	1.0	4	4.1	69	70.4
26 京都府	163	123	75.5	-	-	1	0.6	124	76.1
27 大阪府	458	426	93.0	3	0.7	-	-	429	93.7
28 兵庫県	343	298	86.9	1	0.3	8	2.3	307	89.5
29 奈良県	103	100	97.1	-	-	1	1.0	101	98.1
30 和歌山県	120	110	91.7	-	-	-	-	110	91.7
31 鳥取県	56	54	96.4	-	-	-	-	54	96.4
32 島根県	96	94	97.9	-	-	-	-	94	97.9
33 岡山県	154	149	96.8	-	-	3	1.9	152	98.7
34 広島県	232	205	88.4	5	2.2	21	9.1	231	99.6
35 山口県	146	145	99.3	-	-	-	-	145	99.3
36 徳島県	82	81	98.8	-	-	-	-	81	98.8
37 香川県	67	66	98.5	-	-	-	-	66	98.5
38 愛媛県	128	126	98.4	-	-	-	-	126	98.4
39 高知県	105	81	77.1	-	-	14	13.3	95	90.5
40 福岡県	337	319	94.7	-	-	18	5.3	337	100.0
41 佐賀県	85	62	72.9	2	2.4	20	23.5	84	98.8
42 長崎県	171	163	95.3	-	-	7	4.1	170	99.4
43 熊本県	163	158	96.9	-	-	-	-	158	96.9
44 大分県	124	122	98.4	-	-	2	1.6	124	100.0
45 宮崎県	128	124	96.9	-	-	-	-	124	96.9
46 鹿児島県	219	217	99.1	-	-	-	-	217	99.1
47 沖縄県	149	145	97.3	-	-	-	-	145	97.3
計	9,336	8,702	93.2	39	0.4	224	2.4	8,965	96.0



第6表

## 都道府県別学校給食実施状況（公立中学校生徒数）

平成30年5月1日現在

都道府県名	総数	完全給食		補食給食		ミルク給食		計	
		生徒数	百分比	生徒数	百分比	生徒数	百分比	生徒数	百分比
1 北海道	122,758	121,995	99.4	339	0.3	251	0.2	122,585	99.9
2 青森県	31,182	29,684	95.2	60	0.2	1,199	3.8	30,943	99.2
3 岩手県	31,061	24,464	78.8	662	2.1	5,852	18.8	30,978	99.7
4 宮城県	57,513	56,384	98.0	586	1.0	302	0.5	57,272	99.6
5 秋田県	22,593	22,442	99.3	-	-	-	-	22,442	99.3
6 山形県	28,011	26,663	95.2	1,233	4.4	-	-	27,896	99.6
7 福島県	48,473	47,853	98.7	-	-	-	-	47,853	98.7
8 茨城県	71,164	70,341	98.8	542	0.8	-	-	70,883	99.6
9 栃木県	51,245	49,919	97.4	-	-	-	-	49,919	97.4
10 群馬県	51,112	50,599	99.0	-	-	-	-	50,599	99.0
11 埼玉県	177,291	176,230	99.4	-	-	221	0.1	176,451	99.5
12 千葉県	147,785	146,692	99.3	-	-	-	-	146,692	99.3
13 東京都	223,216	198,326	88.8	-	-	63	0.0	198,389	88.9
14 神奈川県	199,792	65,960	33.0	-	-	30,867	15.4	96,827	48.5
15 新潟県	53,610	53,126	99.1	-	-	12	0.0	53,138	99.1
16 富山県	27,117	27,007	99.6	-	-	-	-	27,007	99.6
17 石川県	29,941	29,470	98.4	-	-	348	1.2	29,818	99.6
18 福井県	20,919	18,800	89.9	2,073	9.9	-	-	20,873	99.8
19 山梨県	20,580	20,339	98.8	-	-	-	-	20,339	98.8
20 長野県	54,723	53,725	98.2	-	-	470	0.9	54,195	99.0
21 岐阜県	54,214	53,894	99.4	-	-	-	-	53,894	99.4
22 静岡県	92,935	90,088	96.9	312	0.3	1,061	1.1	91,461	98.4
23 愛知県	196,080	170,932	87.2	-	-	23,905	12.2	194,837	99.4
24 三重県	45,889	32,626	71.1	-	-	1,639	3.6	34,265	74.7
25 滋賀県	38,952	21,378	54.9	278	0.7	885	2.3	22,541	57.9
26 京都府	56,980	21,464	37.7	-	-	114	0.2	21,578	37.9
27 大阪府	203,501	162,219	79.7	287	0.1	-	-	162,506	79.9
28 兵庫県	132,577	80,232	60.5	36	0.0	4,268	3.2	84,536	63.8
29 奈良県	31,903	30,752	96.4	-	-	199	0.6	30,951	97.0
30 和歌山県	21,776	14,334	65.8	-	-	-	-	14,334	65.8
31 鳥取県	14,346	14,282	99.6	-	-	-	-	14,282	99.6
32 島根県	16,910	16,847	99.6	-	-	-	-	16,847	99.6
33 岡山県	48,374	46,966	97.1	-	-	932	1.9	47,898	99.0
34 広島県	66,534	38,919	58.5	595	0.9	4,732	7.1	44,246	66.5
35 山口県	32,591	32,292	99.1	-	-	-	-	32,292	99.1
36 徳島県	17,684	17,605	99.6	-	-	-	-	17,605	99.6
37 香川県	24,775	24,658	99.5	-	-	-	-	24,658	99.5
38 愛媛県	32,543	32,443	99.7	-	-	-	-	32,443	99.7
39 高知県	13,886	7,608	54.8	-	-	1,115	8.0	8,723	62.8
40 福岡県	126,285	116,336	92.1	-	-	7,864	6.2	124,200	98.3
41 佐賀県	21,495	12,119	56.4	445	2.1	8,708	40.5	21,272	99.0
42 長崎県	34,204	30,599	89.5	-	-	2,505	7.3	33,104	96.8
43 熊本県	46,335	45,502	98.2	-	-	-	-	45,502	98.2
44 大分県	28,144	27,615	98.1	-	-	351	1.2	27,966	99.4
45 宮崎県	27,786	27,228	98.0	-	-	-	-	27,228	98.0
46 鹿児島県	42,879	42,465	99.0	-	-	-	-	42,465	99.0
47 沖縄県	45,471	44,943	98.8	-	-	-	-	44,943	98.8
計	2,985,135	2,546,365	85.3	7,448	0.2	97,863	3.3	2,651,676	88.8

# 中学校給食に関するアンケート調査結果の概要

令和4年(2022年)7月 枚方市教育委員会

## 1. 調査概要

調査趣旨	平成28年4月に選択制の中学校給食の提供を開始し6年が経過した中で、生徒に相応しい中学校給食の今後のあり方について検討を進めるうえでの参考とするため
調査期間	令和4年7月8日～7月21日
対象者	市立小学校3年生から6年生及び市立中学校全生徒とそれぞれの保護者
調査方法	保護者へ「アンケートのお知らせ」を配付し、そのお知らせに添付のQRコードまたはURLから保護者及び児童生徒が回答する
回収率	中学校 保護者 1,673人(回収率:16.5%) / 生徒 955人(回収率:9.4%) 小学校 保護者 3,732人(回収率:27.8%) / 児童 3,632人(回収率:27.1%)

※保護者の回収率:1人の子どもに対し1人の保護者が回答したとして積算

## 2. 調査結果

### (A) 中学生の保護者及び生徒に対するアンケート結果について

#### 1. 給食の選択について

##### 【生徒の保護者】

回答項目	回答率
①給食を選択している(選択しようと思う)	51.1%
②給食を選択していたが今は選択していない	7.5%
③弁当やパンなどを持参させている	41.2%
④その他	0.2%

※その他の回答内容

・給食とお弁当とを併用している ・夏場のみ給食を選択している など

##### 【生徒】

回答項目	回答率
①給食を選択している	58.5%
②給食を選択していたが今は選択していない	6.2%
③弁当やパンなどを持参している	34.7%
④その他	0.6%

※その他の回答内容

・給食を選択するときもあるし弁当の時もある ・月によって変えている など

2. 給食を選択している理由と給食の良いところについて (質問1で①を選択した場合に回答)

※ 複数回答あり

【生徒の保護者】

回答項目	回答率
①仕事で弁当の用意が難しいので助かる	62.0%
②家庭での献立づくりの負担が軽減される	62.6%
③栄養のバランスがとれる	75.1%
④好き嫌いを直すきっかけになる	19.6%
⑤子どもの荷物が減る	48.3%
⑥家庭で食べることがないメニューがある	52.8%
⑦食への関心や知識を得られる	16.9%
⑧安くて経済的	27.6%
⑨良い点はない	0.2%
⑩その他	3.5%

※その他の回答内容

- ・夏場は食中毒の心配がない
- ・夏場は冷たく冬場は温かいものが食べられる
- ・美味しいと子供が言うので
- ・栄養面がよい
- ・就学援助を受けているため

【生徒】

回答項目	回答率
①おいしいと思う	41.7%
②家庭での弁当づくりの負担が軽減される	73.6%
③栄養のバランスがとれる	56.7%
④食への関心や知識を得られる	12.1%
⑤好き嫌いを直すきっかけになる	11.2%
⑥家庭で食べることがないメニューがある	36.6%
⑦弁当をもっていかななくてよい(荷物が減る)	61.6%
⑧安くて経済的	28.7%
⑨よい点はない	3.6%
⑩その他	6.3%

※その他の回答内容

- ・弁当は冷たいけど、給食は温かい
- ・兄弟が弁当だから
- ・親が選んだから
- ・親が大変だから
- ・お母さんが楽になる
- ・外国の料理がたまに出る
- ・温かいご飯が食べられる
- ・中学校の間でしか食べられないから
- ・おいしいから など

3. 中学校給食を選択していない理由と良くないところについて (質問1で②③を選択した場合に回答)

※ 複数回答あり

【生徒の保護者】

回答項目	回答率
①子どもが給食を嫌がる	77.4%
②家でつくった弁当の方がよい	27.3%
③パンなどを購入する方がよい	1.9%
④献立に変化がない	1.6%
⑤子どもが嫌いな食べ物が多い	13.4%
⑥量が多い	13.9%
⑦量が少ない	2.3%
⑧給食費が高い	10.3%
⑨良くない点はない	4.8%
⑩その他	5.5%

※その他の回答内容

- ・小学校と同様の配膳形式にしてほしかった
- ・小学校の給食の方が美味しい
- ・子どもがお弁当がいいと言うから
- ・給食の子が少ないので嫌がる
- ・給食を取りに行くのが手間
- ・他の家族の弁当を作っているから
- ・体育の後、給食を取りに行き教室に戻ったら、食べる時間がない。
- ・予約方法が限定的、難しい
- ・美味しくない、牛乳が嫌い
- ・量が調節できない
- ・ランチボックスのため、おかずの味が混ざって美味しくない

【生徒】

回答項目	回答率
①おいしくないと思う	40.9%
②家でつくった弁当の方がよい	69.8%
③パンなどを購入する方がよい	8.8%
④気に入ったメニューがない	23.8%
⑤嫌いな食べ物が出てくる	36.3%
⑥量が多い・量が少ない	40.5%
⑦昼の時間がなくなる	18.3%
⑧給食費が高い	7.3%
⑨良くない点はない	13.1%
⑩その他	8.2%

※その他の回答内容

- ・家族みんなお弁当だから
- ・自分は給食がいいのに、お母さんがお弁当を作る
- ・美味しいと思うが見た目が美味しなさそうだし箱の色が食欲失せる
- ・とても熱くて食べられない
- ・配膳が面倒くさい
- ・匂いが独特 同じランチボックスの中で隣のおかずの味がついてしまっている。

#### 4. 中学校における昼食について

##### 【生徒の保護者】

回答項目	回答率
①全員を対象とした給食が望ましい(全員給食)	58.3%
②現行どおり給食または弁当やパン等の持参を選択できることが望ましい(選択制給食)	39.1%
③その他	2.6%

##### ※その他の回答内容

- ・配膳形式で全員を対象にしてほしい
- ・選択できるのが一番だが、給食なら学校で作る給食にして欲しい
- ・一括で給食にしてほしいが給食に使える時間の配慮が必要
- ・全員対象にすれば給食費用も今よりも安くなるのではないかと思う
- ・小学校で給食だったのでほんとは抵抗ないはずですが、中学は作りたてではなく保温されて柔らかくなりすぎたものになっていると子どもが感じているので、そこを改善されれば全員給食でもいい
- ・給食費自己負担が軽減されるなら、全員給食が望ましい
- ・時代、風潮に合わせます
- ・どちらでもいい

##### 【生徒】

回答項目	回答率
①全員を対象とした給食が望ましい(全員給食)	13.3%
②現行どおり給食または弁当やパン等の持参を選択できることが望ましい(選択制給食)	82.8%
③その他	3.9%

##### ※その他の回答内容

- ・小学校の方が断然美味しかった
- ・一人一人の好みでいいと思う
- ・小学校と同じ給食内容がいい
- ・全員お弁当がいい
- ・選択制でいいが小学校と同じメニュー

#### 4-(1). 全員給食が望ましい理由について (質問4で①を選択した場合に回答)

##### 【生徒の保護者】

主な意見
全員が給食だと子供が嫌がることなく、栄養面がしっかり考えられていて傷む心配をしなくてもいいから。
他県では中学生が給食なのは普通のこと。大阪は遅れてる。他の子が好きなものばかりのお弁当を食べているのを羨ましがるのが困る。
選択できるようになっているので子供の希望でお弁当になってしまう。せっかく給食センターを建設してもらったのに、給食使用率をあげるためにも特別な理由がある場合以外は給食の一択で良いと思う。
全員給食になっていけば、弁当を作る負担がなくなるから
予約の必要がなく栄養面も安心できる
給食、持参のそれぞれにメリット・デメリットがあると思うので、給食に統一すれば全生徒同じ条件になる。食器類の片付け(食べたらず片付ける)なども教育のひとつになると思う。

主な意見
個別にすると子供のわがままにつながる。 嫌いな物も食べないと成長するにつれて望ましくない
選択制だと子供が給食を選びたがらない。 口コミで美味しくないなど、言われているせいか、小学生の時から、試食をしたこともないのに、中学のお弁当給食は絶対嫌だと言っていた。 (小学校の給食は好きだった。) 家で作るお弁当は好きなものを入れがちで、おかずもいつも似たようなものになりがち。 栄養面で考えても、偏りがちになりやすいし、作る負担が大きいので、希望としては、全員を対象とした小学校のような給食を希望する。
母数が多い方がコスト面でも質があがりそう。また、ランチボックスを所定の場所へ個別に取りに行き、戻しに行くのに時間をとられ、昼食が十分に食べる時間が短いとのこと、皆同じスタートで食事がとれた方がいいかなとも考える。
義務教育であれば食育として全員給食にすべきだと思う
小学校6年間の給食では問題ないのであるから、そのまま延長して欲しい。量が不足する場合は各自持参して調整し、年齢に応じた栄養源を個人差の無いように提供することで、心と身体のバランスがとれたより良い教育が行えると思う。 また、給食センターの拡張等費用は掛かると思うが、地産地消、市内雇用拡大に繋がり地域の発展になる。
成長期に毎日栄養バランスのとれた昼食は作れないので
色々感謝がうまれるから。
隣接した市は、全員給食が当たり前で普通になっているから。
嫌いな食べ物にも続けて挑戦することで、苦手ではなくなると思う。みんながいれば、何とか頑張ろうと思うので。 温かい食事が出るのがいい!お弁当だと食中毒が心配。
全員の方が諦めがつく。嫌だと思っても、食べてみたら変わるとし、同じものを食べて会話をすること大切さがあると思う。先生方の業務も軽減される。それが学校生活を過ごすという事においていい環境だと思うから。
お昼ご飯を食べてない子がいたり、菓子パンだけだったりの子がいるらしく、他人の子供ではあるが、成長期の子供に栄養バランスがとれない食事はどうか?と思う。
選択肢があるから親への負担が増える。 子供も周りに給食の人がいないと食べたくないという。 決めてくれていた方が子供への説得の負担も減るしみんな同じという安心感も子供に与えられる。
全員がきちんと栄養を摂取できる環境。小学校のように自動引き落して、みんなが同じ給食を食べれる環境が好ましい。
家庭環境により、十分な食事が持参できない方もいるため。
他の市は全員なのに、なぜ枚方は選択制なのかわからない

#### 【生徒】

主な意見
みんな同じ物を食べている方がいい。家庭間の格差がない。
家の人がお弁当をつくるのが大変だから
本当は給食を食べたいから。
みんな平等だから。
みんな同じがいい

主な意見
栄養がたくさん取れるし、好き嫌いを直すきっかけとなるため
小学校の給食の方が美味しいから
ご飯だけでなくおかずのおかわりができる
お弁当の人が持ってくるものを忘れた時に食べるものがないということにはならなくなるし、給食の方が温かいものを食べられるから。
美味しいかわからなくて、なかなか給食にできないから
みんなで同じものを食べると楽しいから
みんなで一緒にたべたい
統一感が増えてみんなとの仲が深まるから。
全員で当番を回すため、負担が減るから。

4-(2). 選択制が望ましい理由について (質問4で②を選択した場合に回答)

【生徒の保護者】

主な意見
量の調整が出来、好きな物も入れてあげられる
それぞれの家庭の事情によって選べたら有り難い
生徒一人ひとり食べる量も違うし、給食が嫌だと言う子もいる
お弁当を作ってあげたい、お弁当も親子のコミュニケーションの1つ
給食費が高い
好き嫌いのある子に給食を食べさせて残したりしたら給食を作ってくださいている方たちに申し訳ないと思うから。
小学校給食に比べて、美味しくない子どもから聞いている
好きなものを食べることで気持ちがりフレッシュできると思う
給食を選択している身としては、もっと給食の人数が増えて一人当たりの負担金額が減るとありがたい。ただ、各ご家庭の事情も配慮し、強制することは慎重になるべきかと思う。もし全員給食にするなら、無料もしくは小学校くらいの金額に減額するべきかとも思う。
少ない時間で食べれる量に個人差があるから。
特にないが 今で満足だから
アレルギーがあるため
好きなものを選べる方が良いから
給食は栄養バランスがとれているとは思いますが、量や味等合わないものをムリして食べるのは良くないと思う。
強制する必要はないと思う
給食費の負担を無くしたいから

【生徒】

主な意見
給食よりお弁当の方が美味しいからお弁当にする子もいるし、親の都合でお弁当が良くても給食にしないといけない子など、自分の好きなものを食べたりできた方が嬉しいから
アレルギーなどで食べられない子もいるため、自宅で作った弁当のほうが良いと言う人もいるし、もともと食が細くて給食が多いと言う子もいるから
全員給食だと残す人が多くなり、食品ロスが増えるから。

主な意見
給食が嫌な人、給食がいい人、両方が納得で着ると思うから
給食がおいしくないから
体調や自分の食べる量によって調節することができるから
給食だけよりも、その他お弁当とかを持参できる方が一人一人選べるのができていいと思うから。また、給食は小学校の時のものが味に慣れていたりするので、どちらかという小学校の給食がいい、食べたい。
家庭の事情
月に6600円ほど払うより各家庭で作っている方が弁当などの方がいいという方にとっては、そっちの方が良いのではないかと思ったから
自分の好きな物が食べたい
お母さんが作ってくれるお弁当が好きだから
当番の人が重くて大変になる
・もしアレルギーがたくさんある子がいたら、その子はみんなは同じものを食べているのに1人だけ違うものという気持ちが湧き上がってしまうかもしれないから。でも選択できたら、必ず1人ではない
・家庭の金銭面 もし、ある家庭が貧乏として給食費は高い!!となった時、お弁当を作った方が安く済むなら、そっちの方が家庭に優しいのかなと思う
・食品ロス 必ずしも全員が給食を小盛りにしたとて、食べ切れるとは限らない。 だからこそ、自分に合った量で持って来れるお弁当にすることでロスを削減する。
それぞれ個人の自由でいいと思うから。
給食の量が多いとか嫌いな物が多いとかの理由で給食を残してしまう人は、お弁当にした方が環境に良いと思うし、残す時の罪悪感も無くなると思うし、逆に、「お弁当を作ってくれる人がいない」とか、「お弁当を作る時間が無い」などの理由で昼食が自分で用意できない人は給食の方が良いと思うから、選択制給食の方が良いと思った。
コロナが怖い人もいると思うし、給食が嫌いでお弁当やパンを持参している人もいるのに強制的に給食に変更されるのはおかしい。また、金銭的に給食を食べられない生徒もいるかもしれないから。
偏食などがあると、給食では十分にご飯を食べることができないから。

## 5. 給食費の負担者について

【保護者のみの質問】

回答項目	回答率
① 父	75.8%
② 母	13.8%
③ 祖父	0.1%
④ 祖母	0.1%
⑤ 他の家族や親せき	0.1%
⑥ 就学援助・生活保護を受けている	7.5%
⑦ その他	2.7%

※その他の回答内容

・給食を選択していない ・母子家庭の援助を受けている ・両親 ・家計から支出



## 6. 1日の食事回数について

【生徒の保護者】(子どもの食事について回答)

回答項目	回答率
① 一日3食(朝・昼・晩)食べている	96.1%
② 一日2食(朝ごはんは食べていない)	3.7%
③ 一日2食(昼ごはんは食べていない)	0.1%
④ 一日2食(晩ごはんは食べていない)	0.1%
⑤ 一日1食(いずれかに○をつけてください→朝のみ・昼のみ・晩のみ)	0%

【生徒】

回答項目	回答率
① 一日3食(朝・昼・晩)食べている	92.9%
② 一日2食(朝ごはんは食べていない)	6.4%
③ 一日2食(昼ごはんは食べていない)	0.1%
④ 一日2食(晩ごはんは食べていない)	0.2%
⑤ 一日1食(いずれかに○をつけてください→朝のみ・昼のみ・晩のみ)	0.3%

※ 7. 今後の中学校給食に希望することについては、  
小学校アンケート以降にまとめて掲載

## (B) 小学生の保護者及び児童に対するアンケート結果について

### 1. 中学生になった際の給食の選択について

#### 【児童の保護者】

回答項目	回答率
①給食を選択しようと思う	50.3%
②弁当やパンなどを持参させようと思う	17.3%
③わからない	29.0%
④その他	3.4%

#### ※その他の回答内容

- ・給食と弁当を併用したい
- ・周りのお友達と合わせたい
- ・本人次第
- ・子供が弁当を希望している
- ・夏場だけ給食利用
- ・給食の内容、量、費用など検討してから決めたい
- ・給食にしたいが子供は弁当がいいという。選択制ではなく給食のみにしてほしい
- ・小学校のように全員が給食にして欲しい
- ・中学校の給食が美味くなったら給食にしたい など

#### 【児童】

回答項目	回答率
①給食を食べたい	28.7%
②弁当やパンなどをもって行って食べたい	44.7%
③わからない	24.1%
④その他	2.5%

#### ※その他の回答内容

- ・一度だけ食べてみたい
- ・どちらも食べたい
- ・給食が作りたてだったら食べたい
- ・試食して美味しかったら給食がいい
- ・お母さんと考える。給食だと時間以内に食べられるか分からないから
- ・小学生の時(今)と同じ給食なら絶対食べたい。違うなら味によって決める
- ・お母さんは給食にして欲しいと言っている
- ・弁当の日もあれば、給食の日の感じがいい など

## 2. 学校給食の良い点について

※ 複数回答あり

### 【児童の保護者】

回答項目	回答率
①仕事で弁当の用意が難しいので助かる	61.9%
②家庭での献立づくりの負担が軽減される	65.3%
③栄養のバランスがとれる	85.4%
④好き嫌いを直すきっかけになる	31.3%
⑤子どもの荷物が減る	56.9%
⑥家庭で食べることがないメニューがある	64.5%
⑦食への関心や知識を得られる	21.1%
⑧安くて経済的	28.9%
⑨良い点はない	1.4%
⑩その他	3.4%

#### ※その他の回答内容

- ・夏場などお弁当が傷みやすい時季は衛生面で安心
- ・同じものを協力して配膳して食べることで食育だと思える
- ・家庭での差がなく、全員が栄養をとれるので、給食は大事だと思える
- ・国産の食品で安心できる
- ・一人親等の負担軽減
- ・中学校時代給食を提供してくれている地域で育ったが、メリットしかなかった
- ・あたたかいものを食べられる
- ・色々な味付けを知ることが出来る
- など

### 【児童】

回答項目	回答率
①おいしいと思う	66.7%
②家での弁当づくりがいらなくなる	36.2%
③栄養のバランスがよい	64.8%
④すきらいをなおせる	24.9%
⑤みんなが同じものを食べることができる	34.3%
⑥家で食べることがないメニューがある	57.4%
⑦食べることをいろいろ知ることができる	21.9%
⑧弁当をもっていなくてもいい(にもつがへる)	35.0%
⑨よいところはない	5.9%
⑩その他	2.6%

#### ※その他の回答内容

- ・みんなが給食について盛り上がる事ができる
- ・温かいものを温かいまま食べられる
- ・お母さんがお弁当を早く起きて作る必要がなくなる
- ・作り忘れることがない
- ・いろんな行事の食べ物を知ることができる
- ・おかわりがいっぱいできる
- ・給食で食べた物が美味しかったらお母さんが作ってくれて、ご飯のバリエーションが増える
- ・みんなのために、給食作ってくれるから、嬉しい!
- ・感謝ができる
- ・友達と楽しく食べられる

### 3. 学校給食のよくない点について

※ 複数回答あり

#### 【児童の保護者】

回答項目	回答率
①子どもが給食を嫌がる	25.8%
②家でつくった弁当の方がよい	5.9%
③パンなどを購入する方がよい	0.5%
④献立に変化がない	4.0%
⑤子どもが嫌いな食べ物が多い	11.3%
⑥量が多い	6.0%
⑦量が少ない	13.0%
⑧給食費が高い	14.3%
⑨良くない点はない	38.0%
⑩その他	12.0%

#### ※その他の回答内容

- ・小学校の給食はすごく美味しいと言っているが中学の給食は美味しくないと感じた
- ・子どもの食べる量に応じた量の差をつけられない(つけにくい)ところ
- ・中学のボックス型の弁当が美味しくない
- ・みんなが食べないと給食の引き取りや返却に時間を要する
- ・食物アレルギーがある
- ・お弁当を楽しみにしている
- ・ご飯の時も牛乳が出る
- ・頼む人が少ない
- ・選択制になっているところ
- ・全員が給食ではないから、友達から「作ってもらえないの」と聞かれてしまう
- ・お弁当を取りに行くのが苦痛。その間の友達との会話内に入れず、不安な面もあるそう
- ・昼食時間にある場所まで給食を取りに行くのが面倒だから給食は嫌だと聞いた
- ・食べる量の調整ができない
- ・衛生環境がわからない
- ・全員給食ではない
- ・実際に利用していないのでわからない

#### 【児童】

回答項目	回答率
① おいしくないと思う	6.7%
②弁当やパンなどのほうがよい	16.9%
③気に入ったメニューがない	7.5%
④きれいな食べ物がでてくる	36.8%
⑤食べ残しができないように思う	11.7%
⑥小学校でもうあきた	6.7%
⑦昼休みの時間がなくなる	7.6%
⑧給食当番がいや	26.1%
⑨よくないところはない	41.4%
⑩その他	2.3%

#### ※その他の回答内容

- ・食べる時間が少ない
- ・自分で給食の量を決められない
- ・アレルギーがあるから大変
- ・苦手な食べ物だと食べ終わるのが遅くなる
- ・食べたくないものもできるだけ頑張って食べないといけないから、お弁当の方がいい
- ・給食を作る人が一生懸命作っているのに残す人がいるから 調理員さんの労働時間が多いから
- ・選べる場所、全員給食になる事を願う
- ・中学校の給食は美味しくないと言っている

#### 4. 中学校における昼食について

##### 【保護者】

回答項目	回答率
①小学校と同じように全員を対象とした給食が望ましい (全員給食)	71.8%
②給食または弁当やパン等の持参を選択できることが望ましい (選択制給食)	26.1%
③その他	2.1%

##### ※その他の回答内容

- ・小学校と同じような形式で全員給食が望ましい
- ・味を美味しく、温かい給食が食べられるのであれば全員給食を選択する
- ・全員給食が望ましいが、食べる量の個人差が大きいので、追加持参も許可すべき
- ・週単位で選択出来ると助かる      ・給食が不要      ・どちらでもよい
- ・給食でもお弁当でも統一するのがいい
- ・義務教育での全員給食なら、金額的負担を減らすのが望ましい

##### 【児童】

回答項目	回答率
① 小学校と同じみんなで食べる給食がよい	45.8%
② 給食または弁当・パンなどをえらぶことができるのがよい	54.2%
③ その他	0%

#### 4-(1). 全員給食が望ましい理由について (質問4で①を選択した場合に回答)

##### 【児童の保護者】

主な意見
お弁当か給食かと選択肢があるから嫌がると思うのです、選択肢を無くして欲しい。
選択肢があると、給食希望でも子供が周りに合わせたがる
親の負担が軽減されるため
子どもの栄養面を考えると給食の方がよいのは間違いないが、中学生という年代の特性から、友達と一緒にないと恥ずかしい(友達がお弁当なら、お弁当にしたい等)というだけで、お弁当を選ぶことがある。 経済的理由から給食を頼めない子どもがいる。(全員給食なら仕方がないと思う親も、選択制となると、安い価格であっても、購入するのを躊躇する親がいる。もっと安いパンとかで済ませてしまう。)
皆と同じものを食べることによって、話が共有できるし同じものを食べながらコミュニケーションがとれる
栄養の偏りの改善と現状周りの生徒が弁当だと頼みにくい。また、片付けなど給食を頼むものが少ないと申し込んだ者の負担が多くなる。現状給食後体育などの授業があるとその子たちだけが、片付けて遅れて注意を受けたりすることがあるので全員喫食でないと公平に授業を受けられない。 なぜ関東と同じように大阪でも全員喫食に出来ないのか疑問。

主な意見
各家庭によつての差が出ないため
小学生まで全員を対象にしていたのに 選択制にするのはおかしい。 全員が給食になれば、子供達も何の疑問も持たずに受け入れると思う。
栄養のバランスを考えてくれるから
子供はお弁当が喜ぶが残されるのは困るため、好きな食べ物の割合が多くなってしまい、 栄養バランスが悪くなるため。給食だと親の負担も減り、梅雨や夏場の食中毒の危険性も なくなる
給食を取りに行ったりする手間がありその間に他にグループができ輪に入れないなど友人 関係に問題がでけると聞いている。それが心配。一刻も早い全員給食を望む。
配膳や片付けの役割分担の責任と同じ物を一緒に食べる事は、この先の人生に無い経験 だと思ふから
全員同じものを食べて、平等にするほうがいい

#### 【児童】

主な意見
みんなで同じものを食べると、ものすごく美味しいと思いながら食べることができると思 ふし、自分と嫌いなものが、一緒の子とも仲良くなって、ものすごく仲の良い友達になれると 思ふから。
みんなと違ったら、恥ずかしかったりするから
みんなと同じだと、安心する
栄養のバランスがとれた昼食を食べることが出来る
お母さんの負担が減るから
やっぱりそれぞれ家庭の事情があつて買えない人もいるだろうし、人目が気になる子もい るとおもふ
好き嫌いを少しでも減らせると思ふから
美味しくて、たまらないぐらいうまいから
いっしょに食べるともっとおいしいから
色々家で食べない食べ物や、郷土料理など美味しいものがたくさん出るから
栄養バランスが良い、友達と給食のことをたくさん話せるから
みんなで平等に食べたいから
食べた事が無いものが出来て楽しい

#### 4-(2). 選択制が望ましい理由について

(質問4で②を選択した場合に回答)

#### 【児童の保護者】

主な意見
様々な家庭事情があるため、臨機応変に選択できる方が良いと思ふから
現状の運用で良いと思っているから
子どもがお弁当を望んでいるから
食べる量が各々違うため
苦手な食材が多いため

主な意見
保護者にとって給食は、栄養バランスは魅力的ですが、その反面子供にとって魅力的かと言うと、残念ながら違うのかなと思う。中学生になると小学生の時とは違い、嫌いな物、苦手な物を残さず食べるという考えが薄くなり、給食を残してしまうことが出てくるような気がする。残さないよう家庭で指導したとしても、難しいと思う。 そうすると、エネルギー不足になるのではないかと心配。 多少栄養が偏ったとしても、しっかり食べ、午後の授業と部活を乗り切る方が私は大切だと考える。
体調や、部活動のスケジュールに合わせて調整できるから
給食費の軽減
本人が食べたいものをできるだけ食べさせたい
兄弟がいるためまとめてお弁当ができるため
アレルギーのある子や宗教的な問題で食べてはいけない物がある方に配慮出来ると思います

#### 【児童】

主な意見
自分の好きな食べ物が入れれるし自分で量を決めれるから
給食が好きな人や、弁当が好きな人もいるから
給食は嫌いな食べ物が出た時、残しにくいと思うから
安心な食べ物を食べられるから
選ぶ方が気分が変わえられるから。
自分で食べれる量が調整できるから
お弁当が好きだから
自分でお弁当を作る練習もしたいし、給食ばかりだと飽きるから。
調理員さんの作る量も減るから働き方改革にもなるから
給食当番がない

#### 5. 給食費の負担者について

【保護者のみの質問】

回答項目	回答率
① 父	79.8%
② 母	13.2%
③ 祖父	0%
④ 祖母	0.1%
⑤ 他の家族や親せき	0.1%
⑥ 就学援助・生活保護を受けている	6.4%
⑦ その他	0.5%

※その他の回答内容

・両親

・家計から

・就学援助

## 6. 1日の食事回数について

【児童の保護者】(子どもの食事について回答)

回答項目	回答率
①一日3食(朝・昼・晩)食べている	98.33%
②一日2食(朝ごはんは食べていない)	1.53%
③一日2食(昼ごはんは食べていない)	0.08%
④一日2食(晩ごはんは食べていない)	0.03%
⑤一日1食(いずれかに○をつけてください→朝のみ・昼のみ・晩のみ)	0.03%

【児童】

回答項目	回答率
① 一日3食(朝・昼・晩)食べている	94.51%
②一日2食(朝ごはんは食べていない)	4.43%
③一日2食(晩ごはんは食べていない)	0.53%
④一日1食(いずれかに○をつけてください→朝のみ・昼のみ・晩のみ)	0.53%

## 7. 今後の中学校給食に希望すること

【生徒の保護者】

主な意見
兄弟2人分の給食費負担が大きい。兄弟割があれば有り難い。
小学校と同じような給食にしてほしい。その方がコストも低方がいいと思う
小学校同様配膳方式にして個々に応じた量の調整が出来るといいと思う
美味しい給食がいい
ご当地グルメを取り入れたり、海外のグルメなんかを取り入れたりして、見て楽しい食べて美味しい食育をしていくと子供たちも喜ぶのではないか
もう少し家庭料理にちかいものだといい
先入観や同調圧力からかもしれないので、給食にしても良いと思う家庭が増えるようお試しデー等してはどうでしょうか。
安全安心な全員給食を時間がかかっても実施してください
全額負担で、全員給食を希望
配膳先をもっと近場にして便利にして欲しい
中学校は小学校より給食時間が短く、委員会やクラブ・教室移動等昼休みも時間が取られる事が多い。給食だと準備片付けに時間がかかるので、食べる時間がより少なくなると子ども達から聞くので、もう少し余裕を持った時間設定をお願いしたい。
小中一貫給食希望
早く完全給食にしてほしい
給食は栄養面でもバランスが取れて良いとは思いますが、全員給食制ではなく子どもの希望によって選択できる制度を続けて欲しい
全員給食にしてほしい。給食を選ぶ子が少なくて、選んでいる子供が罪悪感や片身が狭くなる。
全員給食のお弁当ではない、おかずごとに配膳する給食を希望。



主な意見
衛生面と添加物のない安全性を第一に栄養がある美味しいお料理をこれからも提供していただきたい。
一日置きの利用(月・水・金や火・木)でも申し込めるようになれば嬉しい。
全員給食になることで教員の方に負担ばかりを掛けるのではなく、シルバー人材や地域ボランティアなどを積極的に導入すれば良いと思う。これからの社会を支える少ない人材を大切に育てる事を念頭におき、これまでの既成概念にとらわれない新しい取組をどんどん取り入れて、より良い教育にして頂きたい。
何故、小学給食のようにおいしくできないのか？ 改善してほしい
物価の値上がりがあるが値段が上がらないように努力していただき感謝している。大変だとは思いますが美味しく栄養バランスを考えて頂くメニューを続けて欲しい。
お弁当でもよかったが、折角中学校給食を初められたのであればみんなが喜べるようにしてもらえたらと思う。 交野市の中学給食制度が羨ましい
野菜メニューが、どろどろになっていて、味も美味しくない、ほとんど残しているらしいので、美味しく提供してほしい。 出来立ては美味しくても、保温容器で、長時間熱が入った状態のせいではないかと推測している。子ども達が美味しく野菜を食べられるようにしてほしい。
義務教育までは完全給食がいいと思う。
小学校並の給食ならば喜んで食べると思う。
完全給食型にして欲しい。値段を下げて欲しい。出来れば無料がいい
全面給食賛成派ですので可能な限り推し進めていただき近い将来は当たり前のようになってほしい。(後世の児童へ) また全面給食により家庭内の負担はもとより、給食業者の雇用にも繋がり少しでも景気回復の足掛かりにも期待したい。 もちろん食品偽装問題や食中毒問題など業者にはいつもリスクが付きものですが、消費者の期待を裏切らない美味しい給食を目指して誠実な業者の学校給食を望みたい。
試食会で食べたときに小学校と違う味で給食を嫌がりお弁当にした。 小学校と同じならまた食べたいと言っていた。働いているので給食にしてくれたら助かるし栄養バランスもいいので小学校で作って欲しい
申込み時には献立確認出来るのだから、月毎ではなく、日々で申込み出来るとうれしい。 良くないとは思いますが、やはり好き嫌いはある。その日の献立によっては、ほぼ食べずに残す日もあると子供から聞く。 運動部なので、残した日は空腹でへろへろになって帰ってくる。 フードロスの観点から、申込み時に献立を確認して申し込めるようには出来ないか？
中核都市の枚方なので是非子育てに注力して小学校の給食みたいな、原点に戻ったモデル都市になってほしいと願う。
小学校で配膳形式でできることがなぜ中学校でできないのかがわからない。 元々全員を対象にしない前提でやるからこうなるのではないかと。

【生徒】

主な意見
おかずの量も増やせるようにしてほしい
小学校と同じメニューにしてほしい
価格を安くすれば頼む人が増えるのではないかと。

主な意見
おかずの温度の幅を増やしてほしい。ものすごく熱いか冷たいかの二択しかないので、普通の温度も作って欲しい。味噌汁が熱すぎる。舌やけどするかと思った。あと、味が悪いものが結構多い。給食を教室まで運ぶのが大変。特におかずの箱。ものすごく手が痛くなる。もう少し持ちやすいケースにしてほしい。
各献立において量を自分で選べるようにしてほしい
食べられるものの上に食べられないものが乗っていることがあり、食べているのですが美味しくなく感じてしまう。 また、量が多すぎるという子もいるので、少量のものは少量を減らして欲しい。 (時間がなく残すことになってしまうため) 器を持つとかなり熱いので、できればそこも改善してほしい。
おかずとおかずが混ざったりして美味しくない日があると聞いたことがあるので、いっしょのお皿ではなくて、違うお皿にわけたほうがいいと思う。
見た目を彩ってください。茶色が多い。
おかずの汁もれやご飯の水滴もれが多々あるので改善されたら嬉しい。机がベタベタになってるのでそれが困っているの
小盛りのご飯を、もっと小盛りにして欲しい
おかずをもっと増やしてほしい
ご飯を3杯に増やしてほしい
今のままでいい
トレー(箱)の色を変えた方がいい
家ではなかなか食べられないものや、栄養バランスがしっかりと考えられたものが出てきて、とても良いと感じている。でも、大おかずやおかずが熱すぎて、火傷をしそうになることがある。食中毒の観点などでよく火を通さなければならないことや、温かいものを提供できるようにしていることはわかるが、もう少し冷めた状態で出てくると嬉しい。
中学校も小学校の給食と同じにしたいと思う
部活動があるので懇談期間中は給食を出して欲しい
素の量をもっと減らしてもいいと思う。(残している人がほとんどだから) その代わり、おかわりシステムを作るか、足りない分の持参の許可を出してほしい。

#### 【児童の保護者】

主な意見
栄養バランスとあたたかいものだとなおありがたい
小学校と同じものもいい。とても良く考えられていて、子供も給食が大好きなので。
中学校の給食は美味しくないと聞きますが小学校のような美味しくてバランスのとれた給食だとすごくありがたい
無料にしてほしい
食材の安全性や調理工程についてとても気になるし心配なので、そこはきっちりしていただきたい。
小学校給食のように、作り立てを食べさせてあげたい。
小学校のようにみんなで同じものを食べてくれた方が、利用しやすい
子供たちが美味しくしっかりとした量の食事を取れる環境であればと思う
みんなで給食食べれたら嬉しい
このままでいいと思う
是非、全員給食制度を実現していただきたい

主な意見
栄養バランス、適切な量、温かい状態での提供
食べる事=生きる事だと思いますので美味しく食べられたものが身となるように願う
共働きの家庭がほとんど。家庭によりお弁当の内容も全然違う。敏感で難しい時期の子供たち、ぐんと成長する時期の子供たちです。全員が同じ美味しい、栄養のある給食を食べられるようにしてあげてください。枚方は遅れていると思う。ぜひ早く変えてください。
ランチボックスではなく小学校の用な配膳だと、残すことに後ろめたさを感じないので、そちらなら給食を希望する
仕入れ先が衛生管理が徹底されている業者の食材を使用してください。 今年5月頃に鳩フンで問題になったお米は中学校では使用していないとのことでしたが、これからも使用しないで欲しい
小学校のような温かく量も調整できる美味しい給食
A ランチ、B ランチのように複数種類から選べるといい
複数のおかずの味がまざりあって美味しくないらしい。容器の工夫をしてほしい。
全員一律で給食にしてほしい。弁当持参は夏場は衛生面が心配。 小学校と別メニューではなく、小学校と同じ給食で量を増やすだけで良い。子供も小学校と同じ給食なら給食が良いと言っている。
他の市では中学校給食が当たり前だったりするのに、なぜ枚方はまだそうならないのか不思議。
小学校の給食が子供は大好きなので、我が家は中学校も給食にしたいと思っている。給食のメニューも色々あると子供も毎日、喜ぶと思う

#### 【児童】

主な意見
小学校と同じにしてほしい
みんなで食べる給食が良い
給食の量を選べるようにしてほしい
小学校と同じようにバランスの良い食事が良い
食べれる量が選べたり、種類を選択出来ると嬉しい
具が混ざってぐちゃぐちゃになるのをやめてほしい
栄養バランスが良いものをできるだけたくさん出してほしい
給食当番をなくしてほしい
給食か、お弁当か、選べたらいいと思う
美味しく安全な給食にしてほしい
差別を無くして欲しい、みんなが公平な給食
これからもおいしい給食が食べたい
好きな人と食べれて、いろいろなメニューが選べるといいと思う
他府県の郷土料理や外国のご飯が出てきてほしい
この週は子供たちが考えた給食、この週は学校が決めた給食って分けてほしい